

# 松阪市子ども支援研究センターだより

松阪市子ども支援研究センター 〈TEL. 26-1900 FAX. 26-1901〉

E-mail: kyo.div@city.matsusaka.mie.jp <http://www.city.matsusaka.mie.jp>

松阪教育支援センター「鈴の森教室」「三雲やまゆりの教室」

〈TEL 26-1900 FAX 26-1901〉 E-mail: [suzunomori@matsusaka.ed.jp](mailto:suzunomori@matsusaka.ed.jp)

## 新たなスタート

若草の季節となり、子ども支援研究センター付近の木々はひととき鮮やかさを増しています。各園・各学校におかれましては、コロナ禍において、様々な工夫を凝らしながら教育活動を充実させるためにご尽力をいただいていることと思います。

当センターは、新たに課となり、研修・ICT教育係と学びアシスト係ができました。本年度も、教育課題研究、教育の情報化、教育相談、教職員研修、教育支援センター（鈴の森教室・三雲やまゆりの教室）、外国人児童生徒教育等の業務を担ってまいります。各学校・園での教育実践を身近で支援させていただけるセンターとなれるようスタッフ一同、精一杯努めてまいりますので、皆さまのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

子ども支援研究センター本年度のスタッフです。1年間よろしくお願いいたします。

中西 明美（所長）	〈鈴の森教室・やまゆりの教室〉
楠本 誠（研修・ICT教育係長兼指導主事）	三宅 美紀子（教育支援センター指導員）
刀根 曜（研修・ICT教育係指導主事）	宮村 嘉伸（教育支援センター指導員）
脇 清人（研修・ICT教育係指導主事）	田口 寛人（教育支援センター指導員）
小坂 剛史（研修・ICT教育係主任）	早川 尚子（教育支援センター指導員）
水谷 哲士（研修・ICT教育係主任）	
中西 祐司（学び・アシスト係長兼指導主事）	〈NASS〉
辻本 泰介（学び・アシスト係指導主事）	小竹 多恵子（不登校児童生徒支援員）
沖林恵美子（事務職員・相談員）	宮下 房子（不登校児童生徒支援員）
奥野 一茂（長期研修員）	山川 永子（不登校児童生徒支援員）
田中 亜湖（長期研修員）	田口 昌代（不登校児童生徒支援員）

小学生、中学生のみなさんは、デジタルネイティブ世代ともいわれるように物心ついた時からインターネットやスマートフォンなどに囲まれて育っています。ICTが日常的に活用する社会の中で、「GIGAスクール構想」は児童生徒に必要な資質・能力を育むことを目指しています。1年目には、大きく環境が変わったことへの戸惑いも大きかったと思います。今年は2年目となり、1人1台タブレットの活用が日常の風景になりつつあります。今後、学校教育において、1人1台タブレットを生かした取組が進み、ますます重要なツールとなっていくことでしょう。新年度が始まりすでに授業や持ち帰りが始まっている学校もあると思いますが、改めて「活用のルール」を確認するとともに、ほかの文房具と同じように学習のために大切に使用していただきたいと願っています。市ホームページでは、GIGAスクールに関する動画を掲載しています。「活用のルール」や「学校の取組」などを紹介していますので、QRコードからぜひご覧ください。

また、教育相談においては、各園・各学校、専門機関と連携して進めていきたいと思っております。本年度は、不登校児童生徒支援員（NASS）を2名増員し、児童生徒や保護者を支援する教育相談の充実を一層図ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。（中西 明美）



# 教育相談体制の紹介

松阪市子ども支援研究センターでは、各園・各学校の先生方を支える取り組みを行っています。その一つが教育相談です。しかし、「こんなことで悩んでいるのだけれど、どうしたらいいのかわからない」と悩みを抱える先生の数はいくつにも感じられます。この機会に当センターの教育相談体制を簡単に紹介いたします。

## 1. 登校渋り・不登校に関係する悩み

☎ 0598-26-1900

(1) 「この子、なんだか最近遅刻しがち、登校渋りじゃ…」

早目の相談を。問題が大きくなる前に、動き出してください。

「こんなことで電話していいのかな…」と悩む前に、まずは連絡をください。

(2) 「学校に来れなくなってしまった…」

松阪教育支援センターに相談してみませんか。次の二つの教室があります。

○鈴の森教室・・・小集団の中で、元気を回復させ、学校復帰を支援

○やまゆり教室・・・個人に寄り添い、元気を回復させ、学校復帰を支援

二教室を知っていると「保護者さん、こんな教室もあるよ、一緒に話を聞いてみようか？」などの声掛けもできます。センターは学校や担任と協力し、子どもや保護者の悩みに寄り添います。また、必要や状況に応じて「面接相談・電話相談・訪問相談」も行っています。

(3) 「どうやったらいいのかわからない、専門家の話を聞きたい。」

**臨床心理士によるカウンセリング**

不登校という事象には、多くの要因が複雑に絡み合っていることが少なくありません。「あの子、集団生活が難しいのだけれど、どのように学校生活の場で接していくとよいのか…」、方針が定まるだけでも気持ちはラクになります。また、保護者の思いや悩みを臨床心理士とのカウンセリングで解きほぐしていくことも、問題解決の一つの手段です。

(4) 「子どもが会ってくれない、会わせてもくれない…」 「引きこもってしまった…」

家庭への訪問面談ができる**不登校児童生徒支援員（NASS）**がいます。学校とは違う立場からのアプローチで、学校や担任との関係を再びつなぐことができるかもしれません。

## 2. 保護者・児童生徒との関係や対応上の悩み

☎ 0598-23-7939

「この子・この保護者とはどう関わればいいのかしら？」

○広い見識と深い専門性をもった臨床心理士に相談してみるのも一つの手です。

○第三者の立場であるセンター職員に相談するのもよいかもしれません。ヒントが見つかるかもしれません。

## ★ご希望の書籍を購入します★

今年度も教育関係書籍の購入をします。希望の書籍がありましたら、電話やFAX、メールなどで、子ども支援研究センターまでお知らせください。

また、センター蔵書の貸し出しも行っています。1回の貸出期間は2週間です。当センターのホームページ「蔵書案内」を参考にして、お問い合わせください。

## 研究集録 ありがとうございました

たくさんの学校・園から研究（実践）集録を届けていただきました。

こちらは、当センターにて閲覧できますので、今年度の授業や研究にお役立てください。